

創立百周年記念号の刊行にあたって

東京家政大学
東京家政大学短期大学部
学長 三木 テイ

At Publishing the Memorial Issue for the Centennial of the Foundation of Tokyo Kasei Daigaku

Tokyo Kasei Daigaku
Tokye Kasei Tanki Daigaku
PRISIDENT TEI MIKI

東京家政大学の前身である和洋裁縫伝習所の創立は明治14年（1881年）4月のことであります。従って昭和56年4月で丁度創立以来満百年を迎えることとなります。この間歴代の学長をはじめ諸先生方の意欲的な御努力により、研究の体制とその施設・設備等が徐々に整備され、それに伴い研究活動も活発になってまいりました。

本紀要は大学における研究の成果を公開し、広くそれらについて御批判を仰ぐ目的で昭和31年11月に創刊されました。その後年々内容も充実され今日に到っております。本紀要に掲載されてまいりました論文の学問分野は、諸先生方の御専門により多岐に亘っております。しかし本学においてはそれらすべての基底には家政学があると考えております。家政学はすべての学問の成果をふまえ、それらを統合して人間生活に役立てようとするものです。それは単に専門化・分化された知識の追求では無いと同時に、広範な断片的な知識の寄せ集めでもありません。そこには真理の探求と、その均衡のとれた活用が要求されるのであります。そしてこれは昨今に到って広く言われますところの学際的視点そのものでもあります。またそこには開拓の余地が広く残された研究領域があるのであります。いかなる学問も自らの殻に閉じこもっては新しい発展は望めません。

今後も本紀要を媒介にして活発な学問的知識・情報の交換の場を作り、独自の研究領域の開発を促して諸科学の発展に添えるよう努めたい所存であります。

(1980年9月30日)